

科目名	Expression A(1) VT(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声メソッドの説明、課題曲提示	
2	4月27日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、低音、イーストレッチのレクチャー、歌唱指導	発生練習及び課題曲練習
3	5月11日	講義・演習	外化、発声指導、共鳴レクチャー、歌唱指導	発生練習及び課題曲練習
4	5月18日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
5	5月25日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
6	6月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
7	6月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
8	6月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
9	6月22日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
10	6月29日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
11	7月6日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
12	7月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
13	8月24日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	基礎練習、課題テキストを読みレポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント楽曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(1) Gt Melodic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBB(NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践。						
到達目標	メジャースケール、マイナースケール、ペントニック(メジャー／マイナー)の構造、ポジションを覚え、複数のキーで、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	トレーニングメニューを作成する。 パターン練習実践1。	メジャースケールを予習
2	5月9日	講義・演習	ピッキング3種類を覚える。 パターン練習実践2。	自分のトレーニングメニューを作成
3	5月16日	講義・演習	メジャースケールパターン2を覚える。 上行下行パターンを弾く。	オルタネイト・ピッキングで練習する時間を作る。
4	5月23日	講義・演習	メジャースケールパターン3を覚える。 3連パターンを弾く。	スケールの復習、 練習メニューの見直し。
5	5月30日	講義・演習	メジャースケールパターン4を覚える。 4連パターンを弾く。	スケールの復習、 練習メニューの見直し。
6	6月6日	講義・演習	メジャースケールパターン5を覚える。 3度パターンの理解と練習を行う。	スケールの復習、 練習メニューの見直し。
7	6月13日	講義・演習	メジャースケールパターン6を覚える。 4度パターンの理解と上行下行練習を行う。	スケールの復習、 練習メニューの見直し。
8	6月20日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。	スケールの復習、 練習メニューの見直し。
9	6月27日	講義・演習	ペントニック・パターン1を覚える。 3連での上下行パターンを弾く。	ペントニックのポジション確認
10	7月4日	講義・演習	ペントニック・パターン2を覚える。 4連での上下行パターンを弾く。	ペントニックのポジション確認
11	7月11日	講義・演習	ペントニック・パターン3を覚える。 HO上行、PO下行フレーズを弾く。	ペントニックのポジション確認
12	7月18日	講義・演習	ペントニック・パターン4を覚える。 チョーキングを含むフレーズを弾く。	ペントニックのポジション確認
13	8月22日	講義・演習	ペントニック・パターン5を覚える。 12小節ブルース、パンプでフレーズを弾く。	ペントニックのポジション確認
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の予習復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(20分～)で練習する	

【使用教科書・教材・参考書】

資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。

科目名	Expression A(1) Bass Line Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようにするための講義実習を行う。						
到達目標	1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	右手左手のフォームを確認し、スムーズな演奏法を習得する。	チャプター内のエクササイズの復習
2	4月28日	講義・演習	譜面上の主な記号、指板上の音名を理解できる。	チャプター内のエクササイズの復習
3	5月12日	講義・演習	コードネームについて理解し、そのルートを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	5月19日	講義・演習	度数や音程について、メジャースケールの構造について理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	5月26日	講義・演習	#keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	6月2日	講義・演習	b keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
7	6月9日	講義・演習	ファーストポジションの重要性、2オクターブの音域の重要性を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	6月16日	講義・演習	全てのキーのメジャーペンタトニックスケールを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	6月23日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	6月30日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	7月7日	講義・演習	7thコードの成り立ちとメジャーキーのダイアトニック7thコードを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	7月14日	講義・演習	ナチュラルマイナースケールの構造を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月25日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習復習
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Bass Line Concept教科書				

科目名	Expression A(1) Dr Control Theory(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習 内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになる。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールを身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	グリップ&フォーム、フィンガーコントロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	4月24日	講義・演習	フットワークの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	5月8日	講義・演習	アクセレーションコントロール16分音符(3種類)の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	5月15日	講義・演習	アクセレーションコントロール3連符(2種類)の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	5月22日	講義・演習	ダブルストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	5月29日	講義・演習	5.7.9.11.13ストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月5日	講義・演習	バズ、バズ5、バズ7の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	6月12日	講義・演習	シングルバラデイドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	6月19日	講義・演習	ダブルバラデイドル、トリプルバラデイドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	6月26日	講義・演習	フラム、フラムアクセント16分&3連符の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月3日	講義・演習	フラムバラデイドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	7月10日	講義・演習	フラムタップ、ラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月21日	講義・演習	総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の予習復習
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「Control Theory」				

科目名	Expression A(1) Key Play Tech(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ活動・レコーディングなど行っている						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。および、シンセサイザーの基礎を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	4月24日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	5月8日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	5月15日	講義・演習	課題曲1の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	5月22日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	5月29日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	6月5日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	6月12日	講義・演習	課題曲2の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	6月19日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	6月26日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	7月3日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	7月10日	講義・演習	課題曲3の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	8月21日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習		復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
授業内で配布する資料				

科目名	Expression A(2) VT(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発生練習及び課題曲練習
2	10月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
3	10月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
4	10月26日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
5	11月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
6	11月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
7	11月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
8	11月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
9	12月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発生練習及び課題曲練習
10	12月14日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題チェック	発生練習及び課題曲練習
11	12月21日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発生練習及び課題曲練習
12	1月11日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発生練習及び課題曲練習
13	1月18日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題テキストを読み、レポート
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) Gt Melodic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBB(NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践。						
到達目標	モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	アイオニアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	maj7/バンプ進行で練習
2	10月10日	講義・演習	ドリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7/バンプ進行で練習
3	10月17日	講義・演習	フリジアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7/バンプ進行で練習
4	10月24日	講義・演習	リディアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	maj7#11/バンプ進行で練習
5	10月31日	講義・演習	ミクソリディアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	dom7/バンプ進行で練習
6	11月7日	講義・演習	エオリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7/バンプ進行で練習
7	11月14日	講義・演習	ロクリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7b5/バンプ進行で練習
8	11月21日	講義・演習	maj7/minor7/m7b5/dom7の 4種類のアルペジオを弾く	ポジション固定で アルペジオの切り替えを練習
9	11月28日	講義・演習	ディミニッシュスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。	dim7/バンプ進行で練習
10	12月5日	講義・演習	ホールトーンスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。	II7b5/バンプ進行で練習
11	12月12日	講義・演習	ハーモニックマイナー 構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7/バンプ進行で練習
12	12月19日	講義・演習	メロディックマイナーの 構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7/バンプ進行で練習
13	1月9日	講義・演習	オルタードスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。	dom7b9,dom7#9/バンプ進行で練習
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の予習復習
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分～)で練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。				

科目名	Expression A(2) Bass Line Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようになるための講義実習を行う。						
到達目標	1、メジャースケール、マイナースケールとそのダイアトニックコードの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 2、ブルースのハーモニーとそのコード進行、フレージングを理解し、演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	マイナーキーのダイアトニックコードについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	10月9日	講義・演習	ブルーノート構造を理解し、そのフレージングを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	10月16日	講義・演習	様々なブルースのコード進行を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	10月23日	講義・演習	これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させる。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	10月30日	講義・演習	これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させ、応用する。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月6日	講義・演習	メジャーキーのコードスケールを理解し、全てのキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	11月13日	講義・演習	メジャーキーのコード進行に対して、アルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	11月20日	講義・演習	分数コードの成り立ちを理解し、その機能を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	11月27日	講義・演習	ベースラインの成り立ちとアプローチノートについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	12月4日	講義・演習	クロマチックアプローチとその分析について理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	12月11日	講義・演習	マイナーキーのコードスケールを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	12月18日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	1月15日	講義・演習	後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価。	課題曲の復習
14	1月29日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	2月5日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習		教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				



科目名	Expression A(2) Dr Control Theory(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習 内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールや、連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を広げて欲しい。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールと連符感を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ラフ、4.5ストロークラフの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月9日	講義・演習	ドラッグ、シングルドラッグ、ダブルドラッグの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月16日	講義・演習	ドラッグパラディドルNo.1.2の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	10月23日	講義・演習	ラタマキュー、シングルラタマキュー、ダブルラタマキュー、トリプルラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	10月30日	講義・演習	ルーディメンツ総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月6日	講義・演習	チェンジアップの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月13日	講義・演習	2拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	11月20日	講義・演習	4拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	11月27日	講義・演習	3拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月4日	講義・演習	3拍4連on4/4の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	12月11日	講義・演習	5拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	12月18日	講義・演習	7拍フレーズの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	1月15日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	1月29日	講義・演習	イベントの実践を通してドラムテクニックを学ぶ	楽曲の予習復習
15	2月5日	講義・演習	イベントの実践を通してドラムテクニックを学ぶ	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「Control Theory」				

科目名	Expression A(2) Key Play Tech(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ活動・レコーディングなど行っている						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	前期で学んだ技能を応用する。与えられた楽曲に対して、どのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	10月9日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	10月16日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	10月23日	講義・演習	課題曲4の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	10月30日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	11月6日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	11月13日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	11月20日	講義・演習	課題曲5の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	11月27日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	12月4日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	12月11日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	12月18日	講義・演習	課題曲6の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	1月15日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習		復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
授業内で配布する資料				

科目名	Expression B(1) Vocal Reading(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 ・ 田村涼々架
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを学んでいき、個々の活動の可能性の幅を広げていく。						
到達目標	正しいリズムの理解と、正しいピッチでのメロディー歌唱を出来るようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業の説明、自己紹介、音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを歌う。□	予習・復習など□
2	4月24日	講義・演習	リズム→全音符、2分、4分(休符も同様)で正しく歌う。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。□	予習・復習など□
3	5月8日	講義・演習	リズム→8分を歌う。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。	予習・復習など□
4	5月15日	講義・演習	リズム→16分を歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌う。	予習・復習など□
5	5月22日	講義・演習	リズム→4/2拍子を学ぶ。16分を歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌う。□	予習・復習など□
6	5月29日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。メロディー歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aまでを歌う。	予習・復習など□
7	6月5日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌う。	予習・復習など□
8	6月12日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌う。	予習・復習など□
9	6月19日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌う。	予習・復習など□
10	6月26日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌う。	予習・復習など□
11	7月3日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌う。	予習・復習など□
12	7月10日	講義・演習	前期テスト範囲発表。前期の総復習。	テスト勉強
13	8月21日	講義・演習	前期テスト	テスト勉強
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	特に無し
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	特に無し
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。				

科目名	Expression B(1) Gt Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。</li> <li>・本授業では、その土台を形成するためのトライアド・フォームの習得と、それを用いたエクササイズを通して、基本的なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CAGEDシステムを理解し、コード・ボイスングを体系的に学ぶ。</li> <li>・コード・フォームを自分で組み立てられる思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	開放ポジションのメジャー・フォーム	メジャー・フォームの予習と復習
2	4月24日	講義・演習	開放ポジションのマイナー・フォーム	マイナー・フォームの予習と復習
3	5月8日	講義・演習	E型とA型のフォーム移動	E型&A型フォームの予習と復習
4	5月15日	講義・演習	C型とG型のフォーム移動	C型&G型フォームの予習と復習
5	5月22日	講義・演習	D型のフォーム移動	D型フォームの予習と復習
6	5月29日	講義・演習	各フォームの構成音を理解する	コード構成音の確認
7	6月5日	講義・演習	省略フォームの考察と実践	省略フォームの予習と復習
8	6月12日	講義・演習	分数コードへの対応	分数コードの仕組みを確認
9	6月19日	講義・演習	トライアドの変化型=sus4	sus4フォームの予習と復習
10	6月26日	講義・演習	トライアドの変化型=dim	dimフォームの予習と復習
11	7月3日	講義・演習	トライアドの変化型=aug	augフォームの予習と復習
12	7月10日	講義・演習	コード進行への実践アプローチ	ダイアトニック・コードの予習と復習
13	8月21日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全フォームの復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習			リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.1教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(1) Ba Groove Analyze(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B2松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	グルーヴの重要性とスタンダード・ミディ・ファイルの取扱方法を説明する。	Chapter01の予習
2	5月9日	講義・演習	4分、8分休符とタイトを使用した時の違いを説明する。	Chapter01の復習とChapter02の予習
3	5月16日	講義・演習	4分、8分休符の体得する。(エクササイズ)	Chapter02の復習とChapter03の予習
4	5月23日	講義・演習	スタッカート、テヌート記号のグルーヴ的な違いを説明する。	Chapter03の復習とChapter04の予習
5	5月30日	講義・演習	スタッカートやテヌートを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter04の復習とChapter05の予習
6	6月6日	講義・演習	アクセントの意味、シンコペーション記号の意味合いを説明する。	Chapter05の復習とChapter06の予習
7	6月13日	講義・演習	アクセント、シンコペーションを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter06の復習とChapter07の予習
8	6月20日	講義・演習	音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを説明する。	Chapter07の復習とChapter08の予習
9	6月27日	講義・演習	音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter08の復習とChapter09の予習
10	7月4日	講義・演習	基本的な8ビートパターンとパターンの作り方を説明する。	Chapter09の復習とChapter10の予習
11	7月11日	講義・演習	基本的な8ビートのパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter10の復習とChapter11の予習
12	7月18日	講義・演習	基本的な16ビートパターンとパターンの作り方を説明する。	Chapter11の復習とChapter12の予習
13	8月22日	講義・演習	基本的な16ビートのパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter12の復習とChapter13の予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player				

科目名	Expression B(1) Dr Groove Making(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テクニク系及びアンサンブルクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの習得を目的とする。知識、テクニク、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。						
到達目標	手足の連動と感覚が直結しているレベルを目指し、的確なタイムを保持できるようにする。様々なエクササイズの反復によりトレーニングに向かう行動を習慣化させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	楽器構造の基礎理解。ドラムセットの発展経緯(背景)	教材Chap.00&01内のプラクティスの消化
2	4月24日	講義・演習	8ビートノックパターンの実践。バックビート	教材Chap.02内のプラクティスの消化(フォーム)
3	5月8日	講義・演習	8ビートノック4Wayトレーニングの実践。タイム感	教材Chap.03内のプラクティスの消化(4Way)
4	5月15日	講義・演習	8ビートノックアンサンブル・スタンスの理解	教材Chap.04内のプラクティスの消化(ハットオープン)
5	5月22日	講義・演習	16ビートノック片手継続とキックトレーニング	Chap.05のプラクティス消化。ゴーストモーションの考察
6	5月29日	講義・演習	16ビートノックセット内オーケストレーションの実践	Chap.06のプラクティス消化。移動及びフィルインの練習
7	6月5日	講義・演習	16ビートノック両手継続とパターン実践。バランスのチェック	教材Chap.07内のプラクティスの消化(アクセントワーク)
8	6月12日	講義・演習	16ビートノックバリエーションの実践。パルスイメージの理解	教材Chap.08内のプラクティスの消化(Step1~4)
9	6月19日	講義・演習	16ビートノックゴーストノートを多用したサンプルの実践	教材Chap.09内のプラクティスの消化(ダイナミクス)
10	6月26日	講義・演習	16ビートノックトータル・イメージを意識したアプローチ	教材Chap.10内のプラクティスの消化(マイナスイオン音源)
11	7月3日	講義・演習	シャッフルフィールの習得。リズム構造の理解と実践	教材Chap.11内のプラクティスの消化
12	7月10日	講義・演習	トラディショナル・スタイルの理解と実践	教材Chap.12内のプラクティスの消化(ニュアンス)
13	8月21日	講義・演習	3連符包括のフィールの実践。ゴーストノート。	教材Chap.13内のプラクティスの消化。Chap.14の自習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ 本番までの時間を自己管理する	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習			エクササイズ内容の習得に関して、時間を要する物とそうでない物があることを認識する必要がある	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版ノドラーズ・ハンドブック「Dr Groove Making 1」				

科目名	Expression B(1) Key Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして29年。						
授業の学習 内容	キーボーディストが必要なジャンルに特化した演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	メジャーダイアトニックコード内でのコードワーク。	コードダイアトニックスケールについて予習、復習。
2	5月10日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケール、Straight Pop,Rock	スケール練習、曲の予習、練習。
3	5月17日	講義・演習	曲①のリック、グルーヴを学ぶ。	復習、他のCountry Pops,Rockの曲を聞いてみる。
4	5月24日	講義・演習	2、3、6thを意識したフレーズ、アドリブについて。	スケールの特徴を復習、練習。
5	5月31日	講義・演習	マイナーペンタトニック、Straight Rock Piano	スケール練習、曲の予習、練習。
6	6月7日	講義・演習	曲②のリック、グルーヴを学ぶ。	復習、他のRockの曲を聞いてみる。
7	6月14日	講義・演習	3b、4、7thを意識したフレーズ、アドリブについて。	スケールの特徴を復習、練習。Bluesについて予習。
8	6月21日	講義・演習	Bluesスケール、構成、Shuffleについて。	スケール練習、曲の予習、練習。
9	6月28日	講義・演習	曲③Bluesのリック、演奏の基礎について。	復習、練習。代表曲を聞いて予習。
10	7月5日	講義・演習	Blue Noteを意識したフレーズ、アドリブについて。	復習、練習。Funk Bluesについて予習。
11	7月12日	講義・演習	曲④Funk Bluesのアプローチについて。	テンションハーモニーの復習、練習。
12	7月19日	講義・演習	オルタードスケールを意識したフレーズ、アドリブについて。	復習、練習。試験の準備。
13	8月23日	講義・演習	試験、アドバイス	復習。イベントの準備。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して音楽以外の全体像を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。				

科目名	Expression B(2) Vocal Reading(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 ・ 田村涼々架
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを学んでいき、個々の活動の可能性の幅を広げていく。						
到達目標	正しいリズムの理解と、正しいピッチでのメロディー歌唱を出来るようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
2	10月9日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
3	10月16日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→8部休符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
4	10月23日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→付点4部音符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
5	10月30日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→3/4拍子のメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
6	11月6日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→3/4拍子のメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
7	11月13日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
8	11月20日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
9	11月27日	講義・演習	リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。	予習・復習など□
10	12月4日	講義・演習	後期の総復習。アカベラ練習。	テスト勉強
11	12月11日	講義・演習	後期テスト	特になし
12	12月18日	講義・演習	アカベラ練習	特になし
13	1月15日	講義・演習	アカベラ発表会	特になし
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	特になし
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	特になし
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。				



科目名	Expression B(2) Gt Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。</li> <li>・本授業では、その土台を形成するための7thフォームの習得と、それを用いたエクササイズを通して、基本的なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種7thコードを習得し、コード・ボイスを体系的に学ぶ。</li> <li>・コード・フォームを自分で組み立てられる思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	各種7thコードの仕組みを知る	7thコードの構成音の確認
2	10月9日	講義・演習	開放ポジションでの実践コード・ワーク(1)	開放7thフォームの予習と復習
3	10月16日	講義・演習	開放ポジションでの実践コード・ワーク(2)	開放7thフォームの予習と復習
4	10月23日	講義・演習	押弦7thフォームの習得と実践(1)	各種7thフォームの予習と復習
5	10月30日	講義・演習	押弦7thフォームの習得と実践(2)	各種7thフォームの予習と復習
6	11月6日	講義・演習	押弦7thフォームの習得と実践(3)	各種7thフォームの予習と復習
7	11月13日	講義・演習	minor7th(♭5)への対応	minor7th(♭5)の予習と復習
8	11月20日	講義・演習	dim7thへの対応	dim7thの予習と復習
9	11月27日	講義・演習	省略ボイスを学習する	省略フォームの予習と復習
10	12月4日	講義・演習	3音構成のBCSを学習する	BCSフォームの予習と復習
11	12月11日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(1)	各種7thフォームの復習
12	12月18日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(2)	各種7thフォームの復習
13	1月15日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全7thフォームの復習
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習			リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.1補足教材適宜				

科目名	Expression B(2) Ba Groove Analyze(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	シャッフルビートのリズム的な捉え方とジャンルとの関係について説明する。	Chapter13の復習とChapter14の予習
2	10月10日	講義・演習	トリプレットフィールのリズムの捉え方と楽曲について説明する。	Chapter14の復習とChapter15の予習
3	10月17日	講義・演習	ハマーオンとブルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。	Chapter15の復習とChapter16の予習
4	10月24日	講義・演習	ハマーオンとブルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。	Chapter16の復習とChapter17の予習
5	10月31日	講義・演習	スライドダウン、スライドアップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。	Chapter17の復習とChapter18の予習
6	11月7日	講義・演習	スライドダウン、アップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。	Chapter18の復習とChapter19の予習
7	11月14日	講義・演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンについて説明する。	Chapter19の復習とChapter20の予習
8	11月21日	講義・演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter20の復習とChapter21の予習
9	11月28日	講義・演習	バウンス・ビートのリズム的な捉え方と基本的なパターンを説明する。	Chapter21の復習とChapter22の予習
10	12月5日	講義・演習	バウンス・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter22の復習とChapter23の予習
11	12月12日	講義・演習	ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを説明する。	Chapter23の復習とChapter24の予習
12	12月19日	講義・演習	ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを実践する。(エクササイズ)	Chapter24の復習
13	1月9日	講義・演習	1年次の補足とまとめ	Chapter25の予習
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player				

科目名	Expression B(2) Dr Groove Making(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テクニク系及びアンサンブルクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの習得を目的とする。知識、テクニク、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。						
到達目標	手足の運動と感覚が直結しているレベルを目指し、的確なタイムを保持できるようにする。またアンサンブルに近い環境での能動的なグルーヴの発動にもトライしていく。 評価(固定)						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	16ビート／バウンスフィールの仕組みを学ぶ	教材Chap.16内のプラクティスの消化(Step1~4)
2	10月9日	講義・演習	16ビート／バウンスフィールの実践。	教材Chap.17内のプラクティスの消化(ハネ方の維持)
3	10月16日	講義・演習	16ビート／6連符包括の理解と実践	教材Chap.18内のプラクティスの消化(拍内細分化)
4	10月23日	講義・演習	16ビート／バウンスポイントの理解。ハネ率の把握	教材Chap.19内のプラクティスの消化(聴き取り&実践)
5	10月30日	講義・演習	8ビート実践。能動的感覚の重要性を学ぶ	グルーヴメイク・トライアル(Chap.20)の消化
6	11月6日	講義・演習	8ビート実践。他者フィールを取り込む柔軟性を知る	グルーヴメイク・トライアル(Chap.21)の消化
7	11月13日	講義・演習	16ビート実践。音色、タイミング等ニュアンスの決定	グルーヴメイク・トライアル(Chap.22)の消化
8	11月20日	講義・演習	16ビート実践。シンコペーション・アプローチの設定	グルーヴメイク・トライアル(Chap.23)の消化
9	11月27日	講義・演習	16ビート実践。ハネたフィールの継続を試みる	グルーヴメイク・トライアル(Chap.24)の消化
10	12月4日	講義・演習	シャッフルビート実践。フィールの継続と拡張	グルーヴメイク・トライアル(Chap.25)の消化
11	12月11日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの構造と歴史的背景を学ぶ	Chap.26内プラクティスの消化。ボサノバ基本型の練習
12	12月18日	講義・演習	ボサノバ・フィールの理解と実践。	Chap.27内プラクティスの消化。バリエーションの練習
13	1月15日	講義・演習	ボサノバ・フィールの実践。グルーヴポイントを知る	Chap.28内プラクティスの消化(マイナスフン音源)
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ 本番までの時間を自己管理する	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習			エクササイズ内容の習得に関して、時間を要する物とそうでない物があることを認識する必要がある	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版／ドラマーズ・ハンドブック「Dr Groove Making 1」				

科目名	Expression B(2) Key Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして29年。						
授業の学習 内容	前期の内容をふまえながら、更に演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	モードについて。Swing Jazz Blues	各スケールの復習、練習。パップ楽曲を沢山聞く。
2	10月11日	講義・演習	曲⑤Jazz Bluesのリック、コード理論について。	5度圏の動きを復習、練習。楽曲分析の予習。
3	10月18日	講義・演習	楽曲分析の方法とスケール、タッチについて。	復習、練習。次曲の予習。
4	10月25日	講義・演習	曲⑥マイナーBlues、オルガンアプローチについて。	コード進行の理解と特有のテクニックを理解、復習。
5	11月1日	講義・演習	曲⑦R&B 8/12 リックとフィールについて。	テンポチェンジした練習、次曲の予習。
6	11月8日	講義・演習	曲⑧4/4、Soul リックの応用とフィールについて。	Bluesフィールのコントロールの理解、復習。
7	11月15日	講義・演習	16分のパッキング方法と音色の選び方について。	復習とバラディルの練習。次曲を聞く。
8	11月22日	講義・演習	曲⑨Funk要素が入ったPOPS	構成によってのアプローチをしっかりと理解、練習。
9	11月29日	講義・演習	アクセントの位置を意識したアドリブについて。	運指とタッチコントロールを意識した練習。
10	12月6日	講義・演習	シンセリードでのバンド奏法について。	復習。バンドコントローラーの練習。次曲予習。
11	12月13日	講義・演習	曲⑩ピアノバラードについて。	サウンドさせていく要素の理解、復習。
12	12月20日	講義・演習	イントロ、エンディング、ダイナミクスコントロール。	コードアレンジ方法、奏法の復習。試験準備。
13	1月10日	講義・演習	試験、アドバイス。	復習。イベントの準備。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。				

科目名	Band Ensemble A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	4月27日	講義・演習	UNIT-1(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	5月11日	講義・演習	UNIT-1(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。
4	5月18日	講義・演習	UNIT-2(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
5	5月25日	講義・演習	UNIT-2(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の構成(イントロや歌メロごとの小節数)を把握する為、自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。
6	6月1日	講義・演習	UNIT-3(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身が書き出した歌詞・譜面と資料音源や録音した演奏で曲の構成を暗誦する。
7	6月8日	講義・演習	UNIT-3(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	他の実技(ボイストレーニングやテクニック系)授業で学んだ内容を、アンサンブルで活用する。
8	6月15日	講義・演習	UNIT-4(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる為の練習を行う。
9	6月22日	講義・演習	UNIT-4(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その特徴を感じ取る。
10	6月29日	講義・演習	UNIT-5(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
11	7月6日	講義・演習	UNIT-5(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
12	7月13日	講義・演習	UNIT-6(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。
13	8月24日	講義・演習	UNIT-6(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習		Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。		
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad				

科目名	Band Ensemble A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	UNIT-7(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次のアンサンブルの向上の為、練習する。
2	10月12日	講義・演習	UNIT-7(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
3	10月19日	講義・演習	UNIT-8(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
4	10月26日	講義・演習	UNIT-8(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
5	11月2日	講義・演習	UNIT-9(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
6	11月16日	講義・演習	UNIT-9(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまでの授業で学んだ洋楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。
7	11月23日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
8	11月30日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
9	12月7日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
10	12月14日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
11	12月21日	講義・演習	UNIT-10(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
12	1月11日	講義・演習	UNIT-10(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
13	1月18日	講義・演習	UNIT-11 課題曲2曲の演習を行う。	年間を通し学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad				

科目名	Band Ensemble B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	4月27日	講義・演習	UNIT-1(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	5月11日	講義・演習	UNIT-1(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。
4	5月18日	講義・演習	UNIT-2(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
5	5月25日	講義・演習	UNIT-2(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の構成(イントロや歌メロごとの小節数)を把握する為、自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。
6	6月1日	講義・演習	UNIT-3(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身が書き出した歌詞・譜面と資料音源や録音した演奏で曲の構成を暗誦する。
7	6月8日	講義・演習	UNIT-3(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	他の実技(ボイストレーニングやテクニック系)授業で学んだ内容を、アンサンブルで活用する。
8	6月15日	講義・演習	UNIT-4(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる為の練習を行う。
9	6月22日	講義・演習	UNIT-4(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その特徴を感じ取る。
10	6月29日	講義・演習	UNIT-5(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
11	7月6日	講義・演習	UNIT-5(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
12	7月13日	講義・演習	UNIT-6(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。
13	8月24日	講義・演習	UNIT-6(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習		Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。		
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad				

科目名	Band Ensemble B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	UNIT-7(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次のアンサンブルの向上の為、練習する。
2	10月12日	講義・演習	UNIT-7(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
3	10月19日	講義・演習	UNIT-8(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
4	10月26日	講義・演習	UNIT-8(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
5	11月2日	講義・演習	UNIT-9(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
6	11月16日	講義・演習	UNIT-9(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまでの授業で学んだ洋楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。
7	11月23日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
8	11月30日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
9	12月7日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
10	12月14日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
11	12月21日	講義・演習	UNIT-10(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
12	1月11日	講義・演習	UNIT-10(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
13	1月18日	講義・演習	UNIT-11 課題曲2曲の演習を行う。	年間を通し学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad				



科目名	Acoustic Guitar Techniques(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中田雅敏
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギタリスト、サウンド・プロデューサーとして多くのアーティストのレコーディング、ツアーに参加。教則本、DVDを多数刊行。						
授業の学習 内容	アコースティックギターは、ギタリストに関わらず全てのミュージシャンにとって必須の楽器であり、演奏及び創作活動に無くてはならないものである。ギターの基礎を学ぶことにより、他の教科との連携がより強力なものになり得ると考えられる。この授業では、アコースティックギターの基礎を通して音楽家としての土台を築くものである。						
到達目標	ギターの基礎を学び、コードでの軽い伴奏ができるようになること。 コード楽譜などを見て、基本的なコードの演奏ができるようになること。 初歩的なコードを覚え、作曲などに役立てられるようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ギター演奏に必要な初歩的な知識を身につける。 構え方、ピックの持ち方、チューニングの仕方など。	自身でチューニングが出来るようにしておく。
2	4月24日	講義・演習	コードの省略形で、簡単な伴奏ができるようになる。 ストロークの基本ができるようになる。	コードの基本形を覚える。
3	5月8日	講義・演習	コードの基本形で、簡単な伴奏ができるようになる。 ストロークのバリエーションの習得。	ストロークの基本形を覚える。
4	5月15日	講義・演習	フィンガーボードを把握し、 コードの形が理解できるようになる。	Eフォームバレーコードの練習。
5	5月22日	講義・演習	Eフォームのバレーコードを理解し、 コードフォームの移動ができるようになる。	Aフォームバレーコードの練習。
6	5月29日	講義・演習	Aフォームのバレーコードを理解し、 コードフォームの移動ができるようになる。	課題曲の練習。
7	6月5日	講義・演習	左手のテクニックの習得。 プリング、ハンマリングを覚える。	課題曲の練習。
8	6月12日	講義・演習	左手のテクニックの習得2。 ハーモニクス等できるようにする。	左手のテクニックの練習。
9	6月19日	講義・演習	ピックを使ったアルペジオを習得する。	課題曲の練習。
10	6月26日	講義・演習	フィンガーピッキングの基本を習得する。	アルペジオの練習。
11	7月3日	講義・演習	フィンガーピッキングによるアルペジオを習得する。	課題曲の練習。
12	7月10日	講義・演習	ストロークによる、フルコーラスの演奏を完成させる。	課題曲の練習。
13	8月21日	講義・演習	アルペジオによる、フルコーラスの演奏を完成させる。	課題曲の練習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ。	課題曲への実践アプローチ
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ。	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習		授業の復習は必ず行い、次の週までにマスターしておくこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント資料を配布。				

科目名	Acoustic Guitar Techniques(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中田雅敏
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギタリスト、サウンド・プロデューサーとして多くのアーティストのレコーディング、ツアーに参加。教則本、DVDを多数刊行。						
授業の学習 内容	アコースティックギターは、ギタリストに関わらず全てのミュージシャンにとって必須の楽器であり、演奏及び創作活動に無くてはならないものである。ギターの基礎を学ぶことにより、他の教科との連携がより強力なものになり得ると考えられる。この授業では、アコースティックギターの基礎を通して音楽家としての土台を築くものである。						
到達目標	ギターの基礎を応用し、コードでの伴奏が自由にできるようになること。 コード楽譜などを見て、応用的なコードの演奏ができるようになること。 基礎的なコードを覚え、作曲などに役立てられるようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ギター演奏に必要な応用的な知識を身につける。 基本コードの発展など。	前期の総合的な復習をしておく。
2	10月9日	講義・演習	コードの基本形で、簡単な伴奏ができるようになる。 ストロークの応用をできるようにする。	コードの応用形を練習する。
3	10月16日	講義・演習	コードの基本形で、簡単な伴奏ができるようになる。 ストロークのバリエーションの応用を習得。	ストロークの応用形を練習する。
4	10月23日	講義・演習	フィンガーボード全体をを把握し、 CAGEDコードの応用が理解できるようになる。	基本コードフォームの復習と練習。
5	10月30日	講義・演習	Dフォームのバレーコードを発展させ、 コードフォームの移動ができるようになる。	Dフォームバレーコードの復習と練習。
6	11月6日	講義・演習	GCフォームのバレーコードを発展させ、 コードフォームの移動ができるようになる。	GCフォームバレーコードの復習と練習。
7	11月13日	講義・演習	左手の応用テクニックの習得。 プリング、ハンマリングの応用。	課題曲の練習。
8	11月20日	講義・演習	左手の応用テクニックの習得2。	左手のテクニックの復習。
9	11月27日	講義・演習	ピックを使ったアルペジオの応用を習得する。	左手のテクニックの復習。
10	12月4日	講義・演習	フィンガーピッキングの応用を習得する。	アルペジオの復習。
11	12月11日	講義・演習	フィンガーピッキングを使ったアルペジオの応用。	課題曲の練習。
12	12月18日	講義・演習	ストロークによる、課題曲の演奏を完成させる。	課題曲の練習。
13	1月15日	講義・演習	アルペジオによる、課題曲の演奏を完成させる。	課題曲の練習。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ。	課題曲への実践アプローチ
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ。	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習		授業の復習は必ず行い、次の週までにマスターしておくこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント資料を配布。				

科目名	Playing Style Analysis(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	4月27日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	Playing Style Analysis 授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	5月11日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
4	5月18日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
5	5月25日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
6	6月1日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
7	6月8日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
8	6月15日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
9	6月22日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
10	6月29日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
11	7月6日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
12	7月13日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
13	8月24日	講義・演習	楽曲の分析を行う。	授業での分析を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad				

科目名	Playing Style Analysis(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	10月12日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	10月19日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
4	10月26日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
5	11月2日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
6	11月16日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
7	11月23日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
8	11月30日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
9	12月7日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
10	12月14日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
11	12月21日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
12	1月11日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
13	1月18日	講義・演習	楽曲のアンализを行う。	授業でのアンализを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad				

科目名	New Generation Ensemble(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 遠藤敬三 高橋和久 城石真臣 神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	各楽器のアナライズ後、全体でアンサンブル					
到達目標	J-POPを通してリズム及びFeelを理解させる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	8beat/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
2	5月9日	講義・演習	8beat/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
3	5月16日	講義・演習	8beat/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
4	5月23日	講義・演習	リフもの HalfRhythmの理解・技術力学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
5	5月30日	講義・演習	リフもの HalfRhythm他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
6	6月6日	講義・演習	R&R基本スタイル/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
7	6月13日	講義・演習	R&R基本スタイル/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
8	6月20日	講義・演習	16beatリフもの/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
9	6月27日	講義・演習	16beatリフもの/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
10	7月4日	講義・演習	8分シンコペ AcG/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
11	7月11日	講義・演習	8分シンコペ AcG/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
12	7月18日	講義・演習	16beatハネ/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
13	8月22日	講義・演習	16beatハネ/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布資料・音源				

科目名	New Generation Ensemble(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 遠藤敬三 高橋和久 城石真臣 神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	各楽器のアナライズ後、全体でアンサンブル					
到達目標	J-POPを通してリズム及びFeelを理解させる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	DiscoBeat/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
2	10月10日	講義・演習	DiscoBeat/ 他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
3	10月17日	講義・演習	海外研修	予習
4	10月24日	講義・演習	16BeatRock/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
5	10月31日	講義・演習	16BeatRock/ 他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
6	11月7日	講義・演習	Ballad/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
7	11月14日	講義・演習	Ballad/ 他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
8	11月21日	講義・演習	16Beat/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
9	11月28日	講義・演習	16Beat/ 他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
10	12月5日	講義・演習	Motown/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
11	12月12日	講義・演習	Motown/ 他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
12	12月19日	講義・演習	今までやった曲からランダムに演奏	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
13	1月9日	講義・演習	今までやった曲からランダムに演奏	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Berkleeゼミ(1)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70~90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力, セッション能力, パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	4月28日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	5月12日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	5月19日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	5月26日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月2日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	6月9日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	6月16日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	6月23日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	6月30日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	7月7日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	7月14日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	8月25日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Berkleeゼミ (2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 三潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム (Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	10月13日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	10月20日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	10月27日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	11月3日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	11月17日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	11月24日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	12月1日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	12月8日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	12月15日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	1月12日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	1月19日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	2月2日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	DTM(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使っての打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Logic)を使ってアレンジする事を目的とする。YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人のできる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ソフトシンセをインストゥルメントトラックにセットして音を出す事ができる。	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
2	4月27日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
3	5月11日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
4	5月18日	講義・演習	MIDIノートの入力方法と編集方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
5	5月25日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
6	6月1日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
7	6月8日	講義・演習	MIDIクリップの取り扱い方を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
8	6月15日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
9	6月22日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
10	6月29日	講義・演習	マルチテンパーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
11	7月6日	講義・演習	マルチテンパーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
12	7月13日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
13	8月24日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Arranging 1 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯波哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使っでの打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Protools)を使ってアレンジする事を目的とする。YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人のできる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ソフトサンプラー「Structure Free」を学ぶ	Structure Freeを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
2	10月12日	講義・演習	ドラム専用バーチャルインストゥルメント「Boom」を学ぶ	Boomを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
3	10月19日	講義・演習	マルチティンバー音源「Xpand!2」を学ぶ	Xpand!2の中にある気に入った音色をプロジェクトファイルに保存しておく
4	10月26日	講義・演習	セッションのテンポ、キー、拍子の設定方法を学ぶ	オリジナル曲のテンポ、キー、拍子を変えてみる
5	11月2日	講義・演習	クオンタイズでタイミングをずらす方法を学ぶ	色々なクオンタイズを試してグルーブを理解しておく
6	11月16日	講義・演習	ペロシティーとコントローラーイベントの編集方法を学ぶ	レーンを開いて全ての編集方法に触れておく
7	11月23日	講義・演習	オーディオレコーディングを学ぶ	オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
8	11月30日	講義・演習	オーディオ波形の編集を学ぶ	オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
9	12月7日	講義・演習	インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
10	12月14日	講義・演習	インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
11	12月21日	講義・演習	サイドチェインの使い方を学ぶ	サイドチェインを使ったオリジナルリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
12	1月11日	講義・演習	「編集グループ」と「ミックスグループ」の設定方法を学ぶ	フェーダーバランスだけでラフミックスをしておく。
13	1月18日	講義・演習	オートメーションの書き込みモード「write」「touch」「latch」の3種類を学ぶ	オリジナル曲にオートメーション使ってアレンジに変化をつけてみる
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Gospel EnsembleA (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月24日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月8日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月15日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月22日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	5月29日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月5日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月19日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月26日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月3日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月10日	講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月21日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel EnsembleA (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月9日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月16日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月23日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	10月30日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月6日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月13日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	11月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月4日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月11日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	12月18日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	1月15日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel EnsembleB (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月24日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月8日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月15日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月22日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	5月29日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月5日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月19日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月26日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月3日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月10日	講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月21日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月9日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月16日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月23日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	10月30日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月6日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月13日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	11月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月4日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月11日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	12月18日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	1月15日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BasicKeyboard (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして30年。						
授業の学習 内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	・コードの基礎を学び、コード譜面を見て両手で弾けるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	マイナースケールとダイアトニックコード。	復習、転回形での練習。
2	10月11日	講義・演習	I m-IVm-V-I からの発展コードワークを学ぶ。	復習、転回形での練習。
3	10月18日	講義・演習	曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
4	10月25日	講義・演習	左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。	復習、バラデイドル練習。
5	11月1日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。	復習、曲を聞いて練習。
6	11月8日	講義・演習	曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
7	11月15日	講義・演習	左手のベースラインと右手のポジション	復習、各Keyで対応できるように理解して練習。
8	11月22日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。	復習、曲を聞いて練習。
9	11月29日	講義・演習	曲③イントロ、エンディングの付け方。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
10	12月6日	講義・演習	ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック	復習、曲を聞いて練習。
11	12月13日	講義・演習	弾き歌いのコツや聞かせ方。	復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。
12	12月20日	講義・演習	作曲して伴奏。ハーモニー、リズム、表現方法。	総復習。
13	1月10日	講義・演習	試験、アドバイス	復習。イベントの準備。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。				

科目名	Expression A(3) VT(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICSメンバー。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	
2	5月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	5月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	5月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月6日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月4日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月11日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月18日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月22日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Expression A(3) Gt Melodic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー、ライブ、CMレコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに、 アプローチのバリエーションとトレーニングを行い、オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践	vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習
2	5月9日	講義・演習	B Bossa(1) マイナーii-V	i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習
3	5月16日	講義・演習	B Bossa(2) キー・チェンジの練習	ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
4	5月23日	講義・演習	TeeUp(1) コンビニングとベースライン	II-V-I(key=D)進行でソロ練習
5	5月30日	講義・演習	TeeUp(2) ウォーキングベースとの コンビネーション	II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習
6	6月6日	講義・演習	greater love(1) ペントニック・アプローチ	ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習
7	6月13日	講義・演習	greater love(2) ディミニッシュ・アプローチ	ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習
8	6月20日	講義・演習	Stella(1) m7b5のアプローチ	Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習
9	6月27日	講義・演習	Stella(2) オルタードにフォーカスする	bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習
10	7月4日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
11	7月11日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック2	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
12	7月18日	講義・演習	Dolphin ST(1) M3, m3切り替え	Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習
13	8月22日	講義・演習	Dolphin ST(2) 7thコードの転回形のアプローチ	II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	スケールの復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	スケールの復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分～)で練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。				

科目名	Expression A(3) Bass Line Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野先生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーブのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	4月28日	講義・演習	分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	5月12日	講義・演習	アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	5月19日	講義・演習	16ビートのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	5月26日	講義・演習	セカンダリドミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	6月2日	講義・演習	シャッフルのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	6月9日	講義・演習	分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習。
8	6月16日	講義・演習	様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	6月23日	講義・演習	拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	6月30日	講義・演習	サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	7月7日	講義・演習	レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	7月14日	講義・演習	マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	8月25日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(3) Dr Control Theory(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習 内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用および各ルーディメンツの応用。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロールし、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	シングルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	4月24日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	5月8日	講義・演習	シングルバラデイドルコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	5月15日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	5月22日	講義・演習	トリプルバラデイドルコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	5月29日	講義・演習	演習・ダブルバラデイドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月5日	講義・演習	トリプルバラデイドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	6月12日	講義・演習	フラムダブルバラデイドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	6月19日	講義・演習	フラムトリプルバラデイドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	6月26日	講義・演習	2拍3連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月3日	講義・演習	2拍3連メトリックモジュレーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	7月10日	講義・演習	4拍3連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月21日	講義・演習	4拍3連メトリックモジュレーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」				

科目名	Expression A(3) Key Play Tech(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。基礎的な練習を反復する事により、現場において様々な演奏アプローチを「思いつく」能力の習得を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	4月24日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	5月8日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	5月15日	講義・演習	課題曲1の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	5月22日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	5月29日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	6月5日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	6月12日	講義・演習	課題曲2の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	6月19日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	6月26日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	7月3日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	7月10日	講義・演習	課題曲3の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	8月21日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(4) VT(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICSメンバー。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	10月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	10月31日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	11月28日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月5日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	12月12日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	12月19日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	1月9日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(4) Gt Melodic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー、ライブ、CMレコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	様々なジャンルでよく使用されるコード進行(7曲)の分析を行い、コードにあった音の選択を実践、ソロ・アプローチのバリエーションを増やす。						
到達目標	モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	1n Samba(1) インナーボイスの半音進行	iii-bIII7-ii-bII7b5(key=Bb)進行でソロ練習
2	10月10日	講義・演習	1n Samba(2) チェンジの練習	ii-bIIb5-iii(key=Bb)進行でソロ練習
3	10月17日	講義・演習	Doneo Chameleon(1) 7thコードでの切り替え :ミクソリディアンベース	I7-IV7(key=Bb)進行でソロ練習
4	10月24日	講義・演習	Doneo Chameleon(1) 7thコードでの切り替え :ミクソリディアンベース	II7-V7-I7(key=C)進行でソロ練習
5	10月31日	講義・演習	Spring Leaves(1) 1キーアプローチ	ii-V-I-IV(key=G)進行でソロ練習
6	11月7日	講義・演習	Spring Leaves(2) 各コードブロックのアプローチ	ii-bIII7-ii-bII7(key=C)進行でソロ練習
7	11月14日	講義・演習	No Chase(1) Jazz Bluesでの基本アプローチ	12小節ブルース進行(key=F)進行でソロ練習
8	11月21日	講義・演習	No Chase(2) ターンアラウンドのバリエーション	iii-VI7-ii-V(key=F)進行でソロ練習
9	11月28日	講義・演習	Wild Flow リディアン/ドリアンでのモードアプローチ	[3/4] Imaj7#11-bVIIm7(key=Bb)進行でソロ練習
10	12月5日	講義・演習	Sake and Horses(1) コンビネーションdimスケール	V7b5b9-V9-i(key=Gm)進行でソロ練習
11	12月12日	講義・演習	Sake and Horses(2) モーダル・インターチェンジ	I-bVII7(key=F)進行でソロ練習
12	12月19日	講義・演習	Small Steps(1) 連続するV-Iキーチェンジのアプローチ	V-I(key=G,Eb,B)進行でソロ練習
13	1月9日	講義・演習	Small Steps(2) 3度進行へのアプローチ	ii-V-I(key=Eb,G,B)進行でソロ練習
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の予習復習
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分〜)でパターンの確認、複数のアプローチによるアドリブ練習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。				

科目名	Bass Line Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野野生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々な代理コードやテンションの概念や機能を理解し、適正なフレージングで演奏出来るようになること。 2、アドリブによるバックিংやベースソロを演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	代理コードの構成音の類似性を理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	10月13日	講義・演習	裏コードとバッキングディミニッシュの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	10月20日	講義・演習	モーダルインターチェンジその他の代理コードの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	10月27日	講義・演習	ウォーキングベースの手法とコンセプトを理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	11月3日	講義・演習	ウォーキングベースの様々なアプローチを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月17日	講義・演習	ヴォイスリーディングの手法を理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	11月24日	講義・演習	ワンコーラスのウォーキングベースラインを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	12月1日	講義・演習	メロディーとそのリズム、モチーフの重要性について理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	12月8日	講義・演習	ワンコードのベースソロのフレージングを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	12月15日	講義・演習	コードトーンやテンションを意識したフレージングを意識し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	1月12日	講義・演習	コード進行の分析とソロのコピーの手法を習得し、実践する。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	1月19日	講義・演習	練習曲に対してベースラインとソロを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	2月2日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(4) Dr Control Theory(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習 内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツの応用。オスティナートやリニアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	3拍4連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月9日	講義・演習	ハイブリッドルーディメンツの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月16日	講義・演習	サンバオスティナートベーシックの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	10月23日	講義・演習	サンバオスティナートの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	10月30日	講義・演習	ソングラーベオスティナートの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月6日	講義・演習	ルンバクラベオスティナートの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月13日	講義・演習	クラベオスティナートの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	11月20日	講義・演習	リニアエクササイズベーシックの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	11月27日	講義・演習	リニアエクササイズの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月4日	講義・演習	リニアエクササイズ実践パターンの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	12月11日	講義・演習	ダブルベースドラミングの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	12月18日	講義・演習	総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	1月15日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」				



科目名	Expression A(4) Key Play Tech(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	前期で学んだ技能を応用する。音色の選択・編集を含めて、与えられた楽曲に対して、職業音楽家としての現場においてどのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	10月9日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	10月16日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	10月23日	講義・演習	課題曲4の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	10月30日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	11月6日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	11月13日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	11月20日	講義・演習	課題曲5の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	11月27日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	12月4日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	12月11日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	12月18日	講義・演習	課題曲6の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	1月15日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習		課題曲に使う音色ごとの演奏方法を考えて予習する。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(3) Vocal Reading (3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	三浦侑美
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを1年次よりも更に深く学び、個々の活動の可能性の幅を広げていく。						
到達目標	1年次の内容を理解した上で、更に高度なリズムの理解とメロディー歌唱を出来るようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	リズムー6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカベラアンサンブル練習。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
2	4月28日	講義・演習	リズムー6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカベラアンサンブル練習。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
3	5月12日	講義・演習	リズムー表現記号を意識して歌う。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
4	5月19日	講義・演習	リズムー表現記号を意識して歌う。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
5	5月26日	講義・演習	リズムースウィングのリズムを学ぶ。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
6	6月2日	講義・演習	リズムースウィングのリズムを学ぶ。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
7	6月9日	講義・演習	リズムー6/8の細かいリズムを学ぶ。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
8	6月16日	講義・演習	リズムー6/8の細かいリズムを学ぶ。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
9	6月23日	講義・演習	リズムー2/2拍子を学ぶ。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
10	6月30日	講義・演習	前期テスト範囲発表。復習など。□	テスト勉強
11	7月7日	講義・演習	後期テスト□	テスト勉強
12	7月14日	講義・演習	後期テスト予備日	特に無し
13	8月25日	講義・演習	リズムー2/2拍子を学ぶ。アカベラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	予習・復習など
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	楽曲の練習
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	楽曲の練習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。□				

科目名	Expression B(3) Gt Harmonic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。						
授業の学習 内容	・様々な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの理解と、それを生かしたエクササイズを通して、多様なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。						
到達目標	・テンションを含むコード理論を学び、それを体系的に理解する。 ・テンション・コードを自在に操る思考を身につけ、音楽センスを磨くことを大義の目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	add9コードの考察と実践	add9フォームの予習と復習
2	4月24日	講義・演習	sus2コードの考察と実践	sus2フォームの予習と復習
3	5月8日	講義・演習	7th系テンション・コード: 9th(1)	9thフォームの予習と復習
4	5月15日	講義・演習	同: 9th(2)	9thフォームの予習と復習
5	5月22日	講義・演習	同: 13th(1)	13thフォームの予習と復習
6	5月29日	講義・演習	同: 13th(2)	13thフォームの予習と復習
7	6月5日	講義・演習	同: 6th&9th(1)	6th&9thフォームの予習と復習
8	6月12日	講義・演習	同: 6th&9th(2)	6th&9thフォームの予習と復習
9	6月19日	講義・演習	同: 11th(1)	11thフォームの予習と復習
10	6月26日	講義・演習	同: 11th(2)	11thフォームの予習と復習
11	7月3日	講義・演習	同: #11th(1)	#11thフォームの予習と復習
12	7月10日	講義・演習	同: #11th(2)	#11thフォームの予習と復習
13	8月21日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全テンション・フォームの復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習			リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.2補足教材適宜				

科目名	Expression B(3) Ba Groove Analyze(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。Bz 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーブの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーブに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なボサノヴァパターンを例題にて説明する。	Chapter25の復習とChapter26の予習
2	5月9日	講義・演習	ボサノヴァの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter26の復習とChapter27の予習
3	5月16日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なサンバパターンを例題にて説明する。	Chapter27の復習とChapter28の予習
4	5月23日	講義・演習	サンバの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter28の復習とChapter29の予習
5	5月30日	講義・演習	ジャマイカ発祥のレゲエの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter29の復習とChapter30の予習
6	6月6日	講義・演習	レゲエの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter30の復習とChapter31の予習
7	6月13日	講義・演習	リズムの源流であるアフリカン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter31の復習とChapter32の予習
8	6月20日	講義・演習	6/8拍子のアフリカン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter32の復習とChapter33の予習
9	6月27日	講義・演習	キューバ発祥のアフロ・キューバン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter33の復習とChapter34の予習
10	7月4日	講義・演習	アフロ・キューバン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter34の復習とChapter35の予習
11	7月11日	講義・演習	ハードロックの原点のロックの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter35の復習とChapter36の予習
12	7月18日	講義・演習	クラシック・ロックの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter36の復習とChapter37の予習
13	8月22日	講義・演習	ディスコ・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter37の復習とChapter38の予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の予習復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(3) Dr Groove Making (3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーブの習得を目的とする。知識、テクニック、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、タイム感の重要性を理解しグルーブに対する「気付き」が生まれる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	楽器構造(ドラムセット)と特有な記譜法の理解。8ビートとその歴史的背景を知る	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
2	4月24日	講義・演習	8ビートにおけるキックバリエーションの実践。スネアバックビートに関する理解。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
3	5月8日	講義・演習	8ビートにおける4Wayトレーニングの実践。メトロノームを使用した練習の紹介。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
4	5月15日	講義・演習	ハイハットワークの実践。ドラムの役割(アンサンブルスタンス)を理解する。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
5	5月22日	講義・演習	Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。ゴーストモーションに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~4)
6	5月29日	講義・演習	Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。ゴーストモーションに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~4)
7	6月5日	講義・演習	セットオーケストレーション:移動モーションの理解と実践。フィルインに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~4)
8	6月12日	講義・演習	Bブロックフォーム(両手16)での16ビートの実践。リード感覚に関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~4)
9	6月19日	講義・演習	Cブロックフォーム(ミックス)での16ビートの実践。ゴーストノートに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~7)
10	6月26日	講義・演習	Cブロックフォームでのグルーブメイク;マイナスワンプ源を使用したトレーニングの実施	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~4)
11	7月3日	講義・演習	シャッフルビートの習得。リズム構造の理解とフィールの実践。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~5)
12	7月10日	講義・演習	トラディショナルスタイルの理解と実践。ハネ方のニュアンスに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~4)
13	8月21日	講義・演習	3連符に包括されたシャッフルフィールの実践。ゴーストノートのコントロール。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習			テキストではチャプター内で扱ったメインテーマの内容をより精度を高めるために、ステップ方式のブラクティスを載せている	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(3) Key Harmonic Concept(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして30年。						
授業の学習 内容	キーボーディストが必要なジャンルに特化した演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	Latinについて。モントューノ奏法、マンボ、サルサ。	復習。クリシェ、5度圏でのアプローチ練習。
2	5月10日	講義・演習	Latin2。ボサノバ、サンバについて。	歴史、他楽器とのアンサンブルを理解、復習、予習。
3	5月17日	講義・演習	曲①Latin Jazz 代表曲から応用力を学ぶ。	復習、他楽曲を聞いて感覚を養う。スケール予習。
4	5月24日	講義・演習	フィール内でのアドリブ、スケールの考え方。	復習、練習。耳コピー。
5	5月31日	講義・演習	アフロキューバンについて。6/8でのアプローチ。	歴史、特徴を理解、復習。次回曲予習。
6	6月7日	講義・演習	曲②代表曲からフィール、を学ぶ。	復習、他楽曲を聞いて感覚を養う。
7	6月14日	講義・演習	レゲエ、Latin Popsについて。	復習、ヒットソングを聞いてアプローチを研究する。
8	6月21日	講義・演習	リディアン、スパニッシュスケールについて。	特徴を掴み、実践できるように復習。次曲予習。
9	6月28日	講義・演習	曲③スパニッシュサウンド、アプローチ	復習、他楽曲を聞いて感覚を養う。
10	7月5日	講義・演習	フィール内でのアドリブ、スケールの考え方。	復習、練習。耳コピー。
11	7月12日	講義・演習	各コードにおける、左手のボイスイングについて。	復習、練習。次曲の予習。内声の移動を意識する。
12	7月19日	講義・演習	曲④Jazz 代表曲からボイスイングの流れを学ぶ。	復習、練習。耳コピー。試験準備。
13	8月23日	講義・演習	試験、アドバイス。	復習。イベントの準備。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。				

科目名	Expression B(4) Vocal Reading(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤豊・ 田村涼々架
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	THE SOULMATIC'Sメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを1年次よりも更に深く学び、個々の活動の可能性の幅を広げていく。					
到達目標	1年次の内容を理解した上で、更に高度なリズムの理解とメロディー歌唱を出来るようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	10月6日	講義・演習	リズムー表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。メロディー歌唱一色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
2	10月13日	講義・演習	リズムー表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。メロディー歌唱一色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
3	10月20日	講義・演習	リズムー3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱一色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
4	10月27日	講義・演習	リズムー3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱一色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
5	11月3日	講義・演習	リズムー12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
6	11月17日	講義・演習	リズムー12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
7	11月24日	講義・演習	リズムー復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
8	12月1日	講義・演習	リズムー復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
9	12月8日	講義・演習	リズムー復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など	
10	12月15日	講義・演習	後期テスト範囲発表。復習。アカペラアンサンブル練習。	テスト勉強	
11	1月12日	講義・演習	後期テスト	テスト勉強	
12	1月19日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習	アカペラアンサンブル練習	
13	2月2日	講義・演習	アカペラ発表会	楽曲の練習	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	楽曲の練習	
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	楽曲の練習	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					
パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。□					

科目名	Expression B(4) Gt Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。						
授業の学習 内容	・様々な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの理解と、それを生かしたエクササイズを通して、多様なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。						
到達目標	・テンションを含むコード理論を学び、それを体系的に理解する。 ・テンション・コードを自在に操る思考を身につけ、音楽センスを磨くことを大義の目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(1)	altボイスの予習と復習
2	10月9日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(2)	altボイスの予習と復習
3	10月16日	講義・演習	Available Note ScaleとTensionの関連性(1)	各種スケールの予習と復習
4	10月23日	講義・演習	Available Note ScaleとTensionの関連性(2)	各種スケールの予習と復習
5	10月30日	講義・演習	Sec.Dを学ぶ(長調)	Sec.Dの予習と復習
6	11月6日	講義・演習	Minor keyの考察と実践	短調を構成する和音の予習と復習
7	11月13日	講義・演習	Sec.Dを学ぶ(短調)	Sec.Dの予習と復習
8	11月20日	講義・演習	II m7-V7のボキャブラリーを開拓	II m7-V7の予習と復習
9	11月27日	講義・演習	II m7(b5)-V7のボキャブラリーを開拓	II m7(b5)-V7の予習と復習
10	12月4日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(1)	モーダル・ハーモニーの予習と復習
11	12月11日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(2)	モーダル・ハーモニーの予習と復習
12	12月18日	講義・演習	ダブル・ストップの活用	各種複音の予習と復習
13	1月15日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全テンション・フォームの復習
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習 時間外学習			リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.2補足教材適宜				



科目名	Expression B(4) Ba Groove Analyze(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。Bz 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ディスコビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter38の復習とChapter39の予習
2	10月10日	講義・演習	リズム&ブルースの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter39の復習とChapter40の予習
3	10月17日	講義・演習	リズム&ブルースの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter40の復習とChapter41の予習
4	10月24日	講義・演習	モータウン・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter41の復習とChapter42の予習
5	10月31日	講義・演習	モータウン・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter42の復習とChapter43の予習
6	11月7日	講義・演習	ファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter43の復習とChapter44の予習
7	11月14日	講義・演習	初期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter44の復習とChapter45の予習
8	11月21日	講義・演習	中期のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter45の復習とChapter46の予習
9	11月28日	講義・演習	中期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter46の復習とChapter47の予習
10	12月5日	講義・演習	近代のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter47の復習とChapter48の予習
11	12月12日	講義・演習	近代のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter48の復習とChapter49の予習
12	12月19日	講義・演習	フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter49の復習とChapter50の予習
13	1月9日	講義・演習	フュージョンの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter50の復習
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	課題曲の予習復習
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(4) Dr Groove Making (4)	必修 選択	必修 選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	スタンダードグルーブの抽出とアナライズが主な内容となる。幾つかの代表的なプレイスタイルを実践し、特化した技術、知識、フィーリングを学ぶ。ラテン音楽やジャズにも触れ総合的に音楽の理解を深めていく。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上において、様々な音楽ジャンルのエッセンスを昇華して主体的にグルーブメイク出来る能力を身につける事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4ビートアプローチのための基礎理解	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
2	10月9日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4Wayコンビネーションのトレーニング	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
3	10月16日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。手足の連動性が複雑化したアドバンスアプローチ	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
4	10月23日	講義・演習	スタイルアナライズ(モータウンの歴史的背景、代表曲からのグルーブ抽出)	参考曲の研究 Chapter42&43
5	10月30日	講義・演習	スタイルアナライズ(スネア、スリッパが特徴的なファンクスタイルの実践)	参考曲の研究 Chapter44
6	11月6日	講義・演習	スタイルアナライズ(ニューオリンズ系の3:2型リズムモチーフを活かしたビートの実践)	参考曲の研究 Chapter45
7	11月13日	講義・演習	スタイルアナライズ(シンコペーション色が強いファンクスタイルの実践)	参考曲の研究 Chapter46
8	11月20日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(JB系のファンク)Chapter55	マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する
9	11月27日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(セカンドライン・フィールのロック)Chapter56	マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する
10	12月4日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(ストレート・フィールのファンク)Chapter57	マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する
11	12月11日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(バウンス・フィールのファンク)Chapter58	マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する
12	12月18日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(6/8フィールのファンク・ロック)Chapter59	マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する
13	1月15日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(ラテン・フィールのファンク)Chapter60	マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化とそれに伴う準備姿勢の樹立
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化とそれに伴う準備姿勢の樹立
準備学習 時間外学習			段階的なブラクティス以外に、マイナスイオン音源や練習用リズムトラックを使用して、アンサンブルに近い形でのエクササイズを推奨する	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(4) Key Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして29年。						
授業の学習 内容	キーボーディストが必要なジャンルに特化した演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	リハモナイズについて。	復習、内声移動の練習。次曲の予習。
2	10月11日	講義・演習	曲⑤代表的な曲からハーモニーの動きを学ぶ。	復習、他のアレンジ曲を聞き、研究する。
3	10月18日	講義・演習	Gospelでよく使用されるリハモナイズ。	復習、Gospel を聞き研究する。
4	10月25日	講義・演習	モダンゴスペルでの II m-V7-I のアプローチについて。	復習、各Keyで演奏できる様に練習。
5	11月1日	講義・演習	Jazz Fusionについて。	復習、歴史をたどり、楽曲を沢山聞き練習。
6	11月8日	講義・演習	曲⑥代表的な曲からアプローチを学ぶ。	復習、コード、フレーズの応用力の練習。
7	11月15日	講義・演習	アドリブの取り方、音色別の演奏方法を学ぶ。	復習、コード、フレーズの応用力の練習。
8	11月22日	講義・演習	曲⑦代表的な曲からアプローチを学ぶ。	復習、コード、フレーズの応用力の練習。
9	11月29日	講義・演習	アドリブの取り方、音色別の演奏方法を学ぶ。	復習、コード、フレーズの応用力の練習。
10	12月6日	講義・演習	様々なジャンルを取り入れたPopsについて。	復習。楽曲の背景を読み、アプローチを研究する。
11	12月13日	講義・演習	ジャンルの特徴を生かしながら歌を支える演奏技術。	復習。メロディーや歌をよく聞き、間を練習する。
12	12月20日	講義・演習	ジャンルの特徴を生かしたジャムセッションを学ぶ。	復習、応用力をつける為の練習。
13	1月10日	講義・演習	試験、アドバイス。	復習。イベントの準備。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。				

科目名	Dr Play Tech(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	乙部ヒロ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	ドラムのスキルアップ(テクニック)、ライブなどでの大切な心得(ハート)、アンサンブル力(合奏力)、リーディング(譜面読み)、 反応の速さ(アドリブ、コンピング)の更なる強化が目的です。  いかなる状況下においても、常に冷静沈着な対応が出来るように、客観性を重んじた演奏ができる事。						
到達目標	①演奏力の強化 ②適応 ③反応力の強化 ④読譜力の強化 ⑤判断力の強化 ⑥協調性の強化						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	リムショット基礎編 様々なリズムに対応できる正確なリムショットを叩けるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
2	4月28日	講義・演習	リムショット応用編 様々なリズムや楽曲に対応できるリムショットを叩けるようにする(曲に合わせて実技します)	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
3	5月12日	講義・演習	6/8のビート基礎編 6/8系の基本的なビート、リズムをスムーズに叩けること	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
4	5月19日	講義・演習	6/8のビート応用編 6/8系の様々なビート、リズムに体を応用できるように叩けること(6/8系の曲に合わせて実技します)	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
5	5月26日	講義・演習	三連符のバルス 次週から行うシャッフルビートの基礎バルス、三連符のバルスを確認する	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
6	6月2日	講義・演習	シャッフルビート応用編(1) 上半身と下半身を分けて、様々なシャッフルビートのパターンがスムーズに叩けるように応用、発展させる	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
7	6月9日	講義・演習	シャッフルビート応用編(2) 上半身と下半身を分けて、様々なシャッフルビートのパターンがスムーズに叩けるように応用、発展させる	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
8	6月16日	講義・演習	16ビートのオルタネート奏法の実用編(1) 16ビートのオルタネート奏法の実用、発展させたビートが叩けるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
9	6月23日	講義・演習	16ビートのオルタネート奏法の実用編(2) 16ビートのオルタネート奏法を更に応用、発展させたビートが叩けるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
10	6月30日	講義・演習	ポリリズムクサジェクション 6/8のビートで4拍3連のフレーズを叩きながら異なるリズムのバリスを同時進行させて、リズム感を鍛える。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
11	7月7日	講義・演習	トリプレット読み シンコペーションチャートを利用して3連符をしっかりとリーディングできるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
12	7月14日	講義・演習	バラデイドル読み シンコペーションチャートを利用して、バラデイドル(16分音符)でリーディングできるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
13	8月25日	講義・演習	テスト	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ドラムセット2~3台、クリック、テキスト				

科目名	Dr Play Tech(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	乙部ヒロ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	ドラムのスキルアップ(テクニック)、ライブなどでの大切な心得(ハート)、アンサンブル力(合奏力)、リーディング(譜面読み)、反応の速さ(アドリブ、コンピング)の更なる強化が目的です。 いかなる状況下においても、常に冷静沈着な対応が出来るように、客観性を重んじた演奏ができる事。						
到達目標	①演奏力の強化 ②適応 ③反応力の強化 ④読譜力の強化 ⑤判断力の強化 ⑥協調性の強化						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	リムショット基礎編 様々なリズムに対応できる正確なリムショットを叩けるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
2	10月13日	講義・演習	リムショット応用編 様々なリズムや楽曲に対応できるリムショットを叩けるようにする(曲に合わせて実技します)	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
3	10月20日	講義・演習	6/8のビート基礎編 6/8系の基本的なビート、リズムをスムーズに叩けること	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
4	10月27日	講義・演習	6/8のビート応用編 6/8系の様々なビート、リズムに体を応用できるように叩けること(6/8系の曲に合わせて実技します)	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
5	11月3日	講義・演習	三連符のバルス 次週から行うシャッフルビートの基礎バルス、三連符のバルスを確認する	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
6	11月17日	講義・演習	シャッフルビート応用編(1) 上半身と下半身を分けて、様々なシャッフルビートのパターンがスムーズに叩けるように応用、発展させる	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
7	11月24日	講義・演習	シャッフルビート応用編(2) 上半身と下半身を分けて、様々なシャッフルビートのパターンがスムーズに叩けるように応用、発展させる	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
8	12月1日	講義・演習	16ビートのオルタネート奏法の実用編(1) 16ビートのオルタネート奏法の実用、発展させたビートが叩けるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
9	12月8日	講義・演習	16ビートのオルタネート奏法の実用編(2) 16ビートのオルタネート奏法を更に応用、発展させたビートが叩けるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
10	12月15日	講義・演習	ポリリズムクサジェクション 6/8のビートで4拍3連のフレーズを叩きながら異なるリズムのバリスを同時進行させて、リズム感を鍛える。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
11	1月12日	講義・演習	トリプレット読み シンコペーションチャートを利用して3連符をしっかりとリーディングできるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
12	1月19日	講義・演習	バラデイドル読み シンコペーションチャートを利用して、バラデイドル(16分音符)でリーディングできるようにする	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
13	2月2日	講義・演習	テスト	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。わからなかったら必ず聞くこと。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ドラムセット2~3台、クリック、テキスト				

科目名	Arranging(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	湯波哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	各パートのベロシティとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる
2	4月27日	講義・演習	各パートのベロシティとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる
3	5月11日	講義・演習	ベロシティ、デュレーション、ロケーションの設定方法を学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。	属の色々な種類のベースの音を出してみる
4	5月18日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のベースの音を出してみる
5	5月25日	講義・演習	演奏表現(コード・ストローク、ブラッシング・ミュート、カッティング)のプログラミングを学んでギターのバックイングを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のギターを音を出してみる
6	6月1日	講義・演習	ジャンル別の両手を使ってのバックイングを学んでピアノのバックイングが打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のピアノの音を出してみる
7	6月8日	講義・演習	各ストリングス系楽器の(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)の調弦および音域を学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる
8	6月15日	講義・演習	各ストリングス系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)のフレーズを学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる
9	6月22日	講義・演習	ピッチベンド、エクスプレッションを使いながらホーンのフレーズを学んでホーンのフレーズを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のホーンの音を出してみる
10	6月29日	講義・演習	良い音を録るレコーディング方法を学んでレコーディングができるようになる。	マイクを使って色々な音を録音してみる
11	7月6日	講義・演習	波形編集を学んで録ったオーディオをEDITできるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
12	7月13日	講義・演習	EQやCompを使用して音の変化を学んで各楽器の帯域が分かるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
13	8月24日	講義・演習	トラックインサートとマスターチャンネルに刺すプラグインを学んで、自分の楽曲に必要なプラグインか不要なプラグインかが判断できるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	楽曲制作
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Arranging(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	湯波哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ドラムの各パートの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる
2	10月12日	講義・演習	ドラムの各パートの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる
3	10月19日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでBassの感情表現を打ち込みでできるようになる。	付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる
4	10月26日	講義・演習	根音以外の音を使って動きのあるベースを学んで上下の立体感をベースで作れるようになる。	付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる
5	11月2日	講義・演習	演奏表現(チョーキング、ビブラート、スライドハンマリング・プリングオフ)のプログラミングを学んでギター感情表現を打ち込みでできるようになる。	付属の色々な種類のギターの音をEDITしてみる
6	11月16日	講義・演習	エレピのポインティング(オープンポインティング)を学んで少ない音数でも美しい広がりがあるポインティングを奏でられるようになる。	付属の色々な種類のエレピの音を出してみる
7	11月23日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスのフレーズを作れるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる
8	11月30日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスで裏メロを作れるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる
9	12月7日	講義・演習	ホーンの奏法(シェイク、アタック・ベンド、ポルタメント、タンギング/スラー、フオール・オフ/アップ、ドロップ)を学んでホーンの奏法を打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のホーンの音をEDITしてみる
10	12月14日	講義・演習	EQコンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
11	12月21日	講義・演習	EQコンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
12	1月11日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
13	1月18日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	楽曲制作
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど, コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり, グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に, アンサンブル能力, セッション能力, パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は, 実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	課題曲1-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	4月27日	講義・演習	課題曲1-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	5月11日	講義・演習	課題曲2-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	5月18日	講義・演習	課題曲2-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	5月25日	講義・演習	課題曲3-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	6月1日	講義・演習	課題曲3-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	6月8日	講義・演習	課題曲4-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	6月15日	講義・演習	課題曲4-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	6月22日	講義・演習	課題曲5-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	6月29日	講義・演習	課題曲5-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	7月6日	講義・演習	課題曲6-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	7月13日	講義・演習	課題曲6-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	8月24日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	前期テスト希望曲の準備
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど, コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり, グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に, アンサンブル能力, セッション能力, パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は, 実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	課題曲7-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	10月12日	講義・演習	課題曲7-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	10月19日	講義・演習	課題曲8-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	10月26日	講義・演習	課題曲8-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	11月2日	講義・演習	課題曲9-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	11月16日	講義・演習	課題曲9-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	11月23日	講義・演習	課題曲10-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	11月30日	講義・演習	課題曲10-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	12月7日	講義・演習	課題曲11-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	12月14日	講義・演習	課題曲11-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	12月21日	講義・演習	課題曲12-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	1月11日	講義・演習	課題曲12-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	1月18日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	後期テスト希望曲の準備
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど, コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり, グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に, アンサンブル能力, セッション能力, パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は, 実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	課題曲1-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	4月27日	講義・演習	課題曲1-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	5月11日	講義・演習	課題曲2-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	5月18日	講義・演習	課題曲2-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	5月25日	講義・演習	課題曲3-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	6月1日	講義・演習	課題曲3-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	6月8日	講義・演習	課題曲4-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	6月15日	講義・演習	課題曲4-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	6月22日	講義・演習	課題曲5-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	6月29日	講義・演習	課題曲5-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	7月6日	講義・演習	課題曲6-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	7月13日	講義・演習	課題曲6-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	8月24日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	前期テスト希望曲の準備
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど, コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり, グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に, アンサンブル能力, セッション能力, パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は, 実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	課題曲7-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	10月12日	講義・演習	課題曲7-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	10月19日	講義・演習	課題曲8-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	10月26日	講義・演習	課題曲8-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	11月2日	講義・演習	課題曲9-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	11月16日	講義・演習	課題曲9-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	11月23日	講義・演習	課題曲10-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	11月30日	講義・演習	課題曲10-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	12月7日	講義・演習	課題曲11-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	12月14日	講義・演習	課題曲11-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	12月21日	講義・演習	課題曲12-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	1月11日	講義・演習	課題曲12-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	1月18日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	後期テスト希望曲の準備
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz Fusion Ensemble(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー、ライブ、CMレコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。					
授業の学習 内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲のアンサンブル					
到達目標	バックিং、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	課題曲1-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	5月10日	講義・演習	課題曲1-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	5月17日	講義・演習	課題曲2-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	5月24日	講義・演習	課題曲2-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	5月31日	講義・演習	課題曲3-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	6月7日	講義・演習	課題曲3-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	6月14日	講義・演習	課題曲4-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	6月21日	講義・演習	課題曲4-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	6月28日	講義・演習	課題曲5-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	7月5日	講義・演習	課題曲5-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	7月12日	講義・演習	課題曲6-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	7月19日	講義・演習	課題曲6-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	8月23日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	前期テスト希望曲の準備
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz Fusion Ensemble(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティスト・プロデューサー、ライブ、CMレコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲のアンサンブル						
到達目標	バックিং、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	課題曲7-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	10月11日	講義・演習	課題曲7-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	10月18日	講義・演習	課題曲8-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	10月25日	講義・演習	課題曲8-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	11月1日	講義・演習	課題曲9-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	11月8日	講義・演習	課題曲9-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	11月15日	講義・演習	課題曲10-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	11月22日	講義・演習	課題曲10-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	11月29日	講義・演習	課題曲11-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	12月6日	講義・演習	課題曲11-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	12月13日	講義・演習	課題曲12-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	12月20日	講義・演習	課題曲12-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	1月10日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	前期テスト希望曲の準備
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Disco Band EnsembleA(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 三潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	4月28日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	5月12日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	5月19日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	5月26日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月2日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	6月9日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	6月16日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	6月23日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	6月30日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	7月7日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	7月14日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	8月25日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Disco Band EnsembleA(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 三潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	10月13日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	10月20日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	10月27日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	11月3日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	11月17日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	11月24日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	12月1日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	12月8日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	12月15日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	1月12日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	1月19日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	2月2日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Disco Band EnsembleB(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 三潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	4月28日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	5月12日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	5月19日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	5月26日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月2日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	6月9日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	6月16日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	6月23日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	6月30日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	7月7日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	7月14日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	8月25日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Disco Band EnsembleB(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 三潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	10月13日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	10月20日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	10月27日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	11月3日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	11月17日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	11月24日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	12月1日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	12月8日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	12月15日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	1月12日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	1月19日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	2月2日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Percussion(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	吉田 開
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	東宝、宝塚歌劇団等、ミュージカル・ポップス系コンサート、レコーディング多数。リズム教育研究所 講師。□						
授業の学習 内容	コンテンポラリーパーカッションの演奏法と、リズムワークに関する知識を、ドラムセットも含めてレクチャー。						
到達目標	パーカッションの基礎とリズムワークの基礎を通して、打楽器のコンテンポラリー演奏を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	前期内容復習	参考音源などの視聴
2	5月10日	講義・演習	ティンパレス 基礎①(奏法とトレーニングについて)	基礎トレーニング(授業内指示)
3	5月17日	講義・演習	ティンパレス 基礎②(トラディショナルな演奏)	グルーヴ把握
4	5月24日	講義・演習	ティンパレストラディショナル演奏体験	ラテン音楽を聴く
5	5月31日	講義・演習	ティンパレス 演奏と16th Feel Groove	リズム演奏の把握
6	6月7日	講義・演習	16th フィール(ファンク、R&B、ラテン他)①	アンサンブル演奏の理解
7	6月14日	講義・演習	16th フィール(ファンク、R&B、ラテン他)②	楽曲把握
8	6月21日	講義・演習	16th フィール(ファンク、R&B、ラテン他)③	総合演奏
9	6月28日	講義・演習	カホンの基礎①	楽器に慣れる
10	7月5日	講義・演習	カホンの演奏②(ドラムの使用方)	リズムワークを把握する
11	7月12日	講義・演習	カホンの演奏③(応用練習)	独特は発想を試みる
12	7月19日	講義・演習	総合演習①	楽曲などの把握
13	8月23日	講義・演習	総合演習②	演奏を完成する
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Percussion(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	吉田 開
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	東宝、宝塚歌劇団等、ミュージカル・ポップス系コンサート、レコーディング多数。リズム教育研究所 講師。□						
授業の学習 内容	コンテンポラリーパーカッションの演奏法と、リズムワークに関する知識を、ドラムセットも含めてレクチャー。						
到達目標	パーカッションの基礎とリズムワークの基礎を通して、打楽器のコンテンポラリー演奏を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	オリエンテーション パーカッション概観	パーカッション使用曲の視聴
2	10月11日	講義・演習	ハンドパーカッション基礎 コンガの音色作り	楽器に触れる時間を持つ
3	10月18日	講義・演習	コンガ 演奏の基礎(ハンドワークトレーニング)	デイリートレーニング(授業内指示)
4	10月25日	講義・演習	コンガ 演奏とリズムワーク(トウンバオ1)	デイリートレーニング(授業内指示)
5	11月1日	講義・演習	コンガ 演奏とリズムワーク(トウンバオ2)	リズムパターン習得練習
6	11月8日	講義・演習	8th Note Feelでのコンガ 演奏①(Dr演奏含む)	楽曲把握(授業内指示)
7	11月15日	講義・演習	8th Note Feelでのコンガ 演奏②(Dr演奏含む)	ドラム演奏確認
8	11月22日	講義・演習	8th Note Feelでのコンガ 演奏③(Dr演奏含む)	仕上げ練習
9	11月29日	講義・演習	小物楽器練習① 練習曲他	楽器に慣れるための練習(授業内指示)
10	12月6日	講義・演習	小物楽器練習② 練習曲他	楽曲把握(授業内指示)
11	12月13日	講義・演習	小物楽器練習③ 練習曲他	総合練習
12	12月20日	講義・演習	ボンゴの基礎①(楽器の基礎、練習)	奏法把握と練習
13	1月10日	講義・演習	ボンゴの基礎②(コンガ、ドラムとともに演奏練習)	実践練習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	RecTech(3) Gt RecTech(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	城石真臣
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	earthmindでメジャーデビューし、アニメ主題歌などを担当。メジャーアーティストのライブサポートやレコーディングを行う。						
授業の学習 内容	デモ楽曲をモチーフにギター演奏を録音することによって、自身の演奏技術を冷静に判断し、現状で最適な演奏と今後必要になる技術や知識を習得する。 パソコンのDTMの操作も合わせて紹介し、ミニマムな環境でのギターメインの音楽制作を習得する。						
到達目標	ギターレコーディングの仕事で必要とされる演奏技術、ギターアレンジなどの対応力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
2	5月9日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
3	5月16日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
4	5月23日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
5	5月30日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
6	6月6日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
7	6月13日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
8	6月20日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
9	6月27日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
10	7月4日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
11	7月11日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
12	7月18日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
13	8月22日	講義・演習	授業まとめ、機材紹介など	配布資料(音源、譜面)の確認
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してギターに必要な技術を学ぶ	楽曲の復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してギターに必要な技術を学ぶ	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			ギター、音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad、譜面				

科目名	RecTech(3) Ba Rec Tech(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	前澤卓
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	メジャーデビュー後、ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DAWを用いて、演奏家がセルフレコーディングする仕事が増加している昨今に対応すべく、ベーシストとして必要なDTM知識を学ぶ。</li> <li>・オリジナル曲を用い、自らDTMを操作しベースを録音して、納品に至るまでの実習を行う。</li> <li>・また、セッションの定番曲などを演奏し、ベースでメロディ、ソロを弾けるような技術を学ぶ。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピューターを用い、自らDAWを操作してベースの録音をする。</li> <li>・オリジナル曲に、自分なりのベースラインを作り、アレンジし演奏する。</li> <li>・録音物を、自分の好みや現場のニーズに応えられるような、DAWでの編集作業ができる。</li> <li>・あらゆるコード進行の曲でも、バックイング、ソロのアイデアを提示し、演奏できる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	DAWの器材を準備し、操作方法を知る。	各々のPCでの環境設定を行う。
2	4月24日	講義・演習	DAWで曲のプロジェクト準備をして、録音をする。□	自分のDAW環境での実践。□
3	5月8日	講義・演習	練習曲のレコーディング(パンチイン、アウト)。□	練習曲を録音する。□
4	5月15日	講義・演習	練習曲のレコーディング(EQ、コンプを知る)。□	自宅環境でのEQ、エフェクト処理をする。□
5	5月22日	講義・演習	編集作業、ファイル書き出しから納品まで。□	自宅環境での編集、納品の実践。□
6	5月29日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 1□	録音したファイルの確認、リテイク。□
7	6月5日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 1□	録音したファイルの確認、リテイク。□
8	6月12日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。□	シーケンサーを用いたソロ練習。□
9	6月19日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。□	シーケンサーを用いたソロ練習。□
10	6月26日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 2□	録音したファイルの確認、リテイク。□
11	7月3日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 2□	録音したファイルの確認、リテイク。□
12	7月10日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。□	シーケンサーを用いたソロ練習。□
13	8月21日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。□	シーケンサーを用いたソロ練習。□
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材についてを学ぶ	楽曲の復習
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材についてを学ぶ	楽曲の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
パソコン オーディオインターフェイス オリジナル曲楽譜				

科目名	RecTech(4) GT RecTech(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	城石真臣
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	earthmindでメジャーデビューし、アニメ主題歌などを担当。メジャーアーティストのライブサポートやレコーディングを行う。						
授業の学習 内容	デモ楽曲をモチーフにギター演奏を録音することによって、自身の演奏技術を冷静に判断し、現状で最適な演奏と今後必要になる技術や知識を習得する。 パソコンのDTMの操作も合わせて紹介し、ミニマムな環境でのギターメインの音楽制作を習得する。						
到達目標	ギターレコーディングの仕事で必要とされる演奏技術、ギターアレンジなどの対応力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
2	10月10日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
3	10月17日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
4	10月24日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
5	10月31日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
6	11月7日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
7	11月14日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
8	11月21日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
9	11月28日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
10	12月5日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
11	12月12日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
12	12月19日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
13	1月9日	講義・演習	授業まとめ、機材紹介など	配布資料(音源、譜面)の確認
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してギターに必要な技術を学ぶ	楽曲の復習
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してギターに必要な技術を学ぶ	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			ギター、音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad、譜面				

科目名	RecTech(4) Ba Rec Tech(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	前澤卓
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	メジャーデビュー後、ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DAWを用いて、演奏家がセルフレコーディングする仕事が増加している昨今に対応すべく、ベーシストとして必要なDTM知識を学ぶ。</li> <li>・オリジナル曲を用い、自らDTMを操作しベースを録音して、納品に至るまでの実習を行う。</li> <li>・また、セッションの定番曲などを演奏し、ベースでメロディ、ソロを弾けるような技術を学ぶ。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピューターを用い、自らDAWを操作してベースの録音をする。</li> <li>・オリジナル曲に、自分なりのベースラインを作り、アレンジし演奏する。</li> <li>・録音物を、自分の好みや現場のニーズに応えられるような、DAWでの編集作業ができる。</li> <li>・あらゆるコード進行の曲でも、バックিং、ソロのアイデアを提示し、演奏できる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。□
2	10月9日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。□
3	10月16日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 3□	録音したファイルの確認、リテイク。□
4	10月23日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 3□	録音したファイルの確認、リテイク。□
5	10月30日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 4□	録音したファイルの確認、リテイク。□
6	11月6日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 4□	録音したファイルの確認、リテイク。□
7	11月13日	講義・演習	作曲、DAWによる音源制作の実践。□	自宅環境での打ち込み、録音。□
8	11月20日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 5□	録音したファイルの確認、リテイク。□
9	11月27日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 5□	録音したファイルの確認、リテイク。□
10	12月4日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 6□	録音したファイルの確認、リテイク。□
11	12月11日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 6□	録音したファイルの確認、リテイク。□
12	12月18日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 7□	録音したファイルの確認、リテイク。□
13	1月15日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 7□	録音したファイルの確認、リテイク。□
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材についてを学ぶ	楽曲の復習
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材についてを学ぶ	楽曲の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
パソコン オーディオインターフェイス オリジナル曲楽譜				

科目名	Berklee ゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	4月28日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	5月12日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	5月19日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	5月26日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月2日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	6月9日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	6月16日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	6月23日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	6月30日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	7月7日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	7月14日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	8月25日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して アンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して アンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Berklee ゼミ(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	10月13日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	10月20日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	10月27日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	11月3日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	11月17日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	11月24日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	12月1日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	12月8日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	12月15日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	1月12日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	1月19日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	2月2日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して アンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して アンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel EnsembleA (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月24日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月8日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月15日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月22日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	5月29日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月5日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月19日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月26日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月3日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月10日	講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月21日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel EnsembleA (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月9日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月16日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月23日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	10月30日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月6日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月13日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	11月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月4日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月11日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	12月18日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	1月15日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel EnsembleB (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに動く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月24日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月8日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月15日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月22日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	5月29日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月5日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月19日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月26日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月3日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月10日	講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月21日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel EnsembleB (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに動く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月9日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月16日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月23日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	10月30日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月6日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月13日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	11月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月4日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月11日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	12月18日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	1月15日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Traditional Harmony(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林幸恵
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング・作曲活動を行う						
授業の学習 内容	和声の基礎を学ぶ。 ①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ ②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる ③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい ①～③ 要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。						
到達目標	* テキストを完了する * ルートからメロディーを作る * メロディーから内声部、ルートを作る * 全ての調に対応可能とする 合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する 和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	主音と音度について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
2	4月27日	講義・演習	3和音、基本位置と転回位置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
3	5月11日	講義・演習	声部、4声体について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
4	5月18日	講義・演習	1声部における2音の継続関係	オリジナルテキストを使用した自習と復習
5	5月25日	講義・演習	2声部における同時-継時間関係	オリジナルテキストを使用した自習と復習
6	6月1日	講義・演習	連結について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
7	6月8日	講義・演習	基本位置3和音の上3声の標準連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
8	6月15日	講義・演習	II→V、V→VIの連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
9	6月22日	講義・演習	3種の和音機能について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
10	6月29日	講義・演習	カデンツの3種の型	オリジナルテキストを使用した自習と復習
11	7月6日	講義・演習	和音進行の可能性について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
12	7月13日	講義・演習	旋法と主音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
13	8月24日	講義・演習	主音の移動について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	制作した楽曲の提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	制作した楽曲の提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Traditional Harmony(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林幸恵
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング・作曲活動を行う						
授業の学習 内容	和声の基礎を学ぶ。 ①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ ②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる ③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい ①～③ 要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。						
到達目標	* テキストを完了する * ルートからメロディーを作る * メロディーから内声部、ルートを作る * 全ての調に対応可能とする 合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する 和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	3和音の第1転回位置について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
2	10月12日	講義・演習	I・IV・Vの標準配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
3	10月19日	講義・演習	IIの配置・連結について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
4	10月26日	講義・演習	第2転回位置3和音の標準位置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
5	11月2日	講義・演習	3和音の仕様における定型	オリジナルテキストを使用した自習と復習
6	11月16日	講義・演習	3和音を含む標準連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
7	11月23日	講義・演習	3和音を含むバス課題の実践	オリジナルテキストを使用した自習と復習
8	11月30日	講義・演習	7の和音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
9	12月7日	講義・演習	V7の和音の配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
10	12月14日	講義・演習	9の和音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
11	12月21日	講義・演習	V9の配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
12	1月11日	講義・演習	V9→Iの連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
13	1月18日	講義・演習	並進9度についての制限	オリジナルテキストを使用した自習と復習
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	制作した楽曲の提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	制作した楽曲の提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Arranging 2(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	湯波哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	各パートのベロシティとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる
2	4月27日	講義・演習	各パートのベロシティとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる
3	5月11日	講義・演習	ベロシティ、デュレーション、ロケーションの設定方法を学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。	属の色々な種類のベースの音を出してみる
4	5月18日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のベースの音を出してみる
5	5月25日	講義・演習	演奏表現(コード・ストローク、ブラッシング・ミュート、カッティング)のプログラミングを学んでギターのバックイングを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のギター音を出してみる
6	6月1日	講義・演習	ジャンル別の両手を使ってのバックイングを学んでピアノのバックイングが打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のピアノの音を出してみる
7	6月8日	講義・演習	各ストリングス系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)の調弦および音域を学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる
8	6月15日	講義・演習	各ストリングス系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)のフレーズを学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる
9	6月22日	講義・演習	ピッチベンド、エクスプレッションを使いながらホーンのフレーズを学んでホーンのフレーズを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のホーンの音を出してみる
10	6月29日	講義・演習	良い音を録るレコーディング方法を学んでレコーディングができるようになる。	マイクを使って色々な音を録音してみる
11	7月6日	講義・演習	波形編集を学んで録ったオーディオをEDITできるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
12	7月13日	講義・演習	EQやCompを使用して音の変化を学んで各楽器の帯域が分かるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
13	8月24日	講義・演習	トラックインサートとマスターチャンネルに刺すプラグインを学んで、自分の楽曲に必要なプラグインか不要なプラグインかが判断できるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	制作した楽曲の提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	制作した楽曲の提出
準備学習 時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				



科目名	Counterpoint(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	湯波哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ドラムの各パートの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる
2	10月12日	講義・演習	ドラムの各パートの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる
3	10月19日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでBassの感情表現を打ち込みでできるようになる。	付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる
4	10月26日	講義・演習	根音以外の音を使って動きのあるベースを学んで上下の立体感をベースで作れるようになる。	付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる
5	11月2日	講義・演習	演奏表現(チョーキング、ビブラート、スライドハンマリング・プリングオフ)のプログラミングを学んでギター感情表現を打ち込みでできるようになる。	付属の色々な種類のギターの音をEDITしてみる
6	11月16日	講義・演習	エレピのポインティング(オープンポインティング)を学んで少ない音数でも美しい広がりがあるポインティングを奏でられるようになる。	付属の色々な種類のエレピの音を出してみる
7	11月23日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスのフレーズを作れるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる
8	11月30日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスで裏メロを作れるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる
9	12月7日	講義・演習	ホーンの奏法(シェイク、アタック・ベンド、ポルタメント、タンギング/スラー、フオール・オフ/アップ、ドロップ)を学んでホーンの奏法を打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のホーンの音をEDITしてみる
10	12月14日	講義・演習	EQコンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
11	12月21日	講義・演習	EQコンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
12	1月11日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
13	1月18日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	制作した楽曲の提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	制作した楽曲の提出
準備学習 時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				